

YAMAGATAが提案する真贋対策

最新デジタル技術による対策

国家高新技术企业（ハイテク企業認定）であるYAMAGATA中国グループの“紹興山形科技”。

既にリリースしたAI言語認識Chatbotは日本、中国の自治体で導入され、複数のイノベーションコンテストでも上位に入賞しております。

今回、YAMAGATAグループでは真贋対策としてブロックチェーン技術を使ったソリューションをご提案いたします。



ブロックチェーン技術を利用したサービス

ブロックチェーン技術のメリット

透明性

データベース(台帳情報)をインターネット上で共通化し、取引参加者のサーバー内に同一の“台帳(取引記録)”を保有します。取引参加者が閲覧する情報は同一であり、必要な範囲の透明性を確実に担保することが出来ます。

信頼性

分散台帳であるため、データ改ざんが技術的に不可能なため、偽情報の登録抑止を図ることは可能です。

追尾可能性

実質的にデータベースを共有することになるため、データ連携自体が不要であり、取引参加者が自らの情報を入力した段階で、トレーサビリティが完了します。



真贋対策/トレーサビリティ

SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

8 働きがいも
経済成長も



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



越境EC/中小企業向けシステム向けのクラウドシステム

越境EC業者や大規模なシステム開発/投資が難しい中小企業向けに、スムーズスタートが可能な、機能を限定したオリジナルのシステム。

主な特徴

- トレース情報の管理
- 修理履歴の管理
- 品質保証書の発行



様々な情報を改ざんが出来ないブロックチェーンに紐づけ、真贋対策、在庫管理を含めた製品のトレーサビリティを実現。



トレース情報



修理履歴



品質保証書

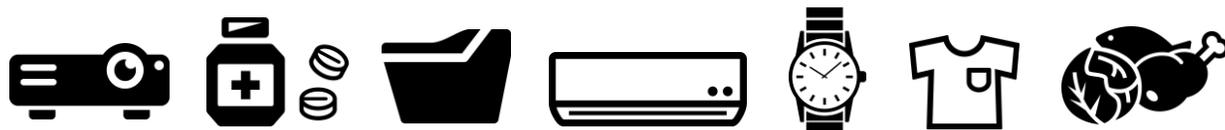
導入イメージ(サプライヤーチェーン)

SDGsへの取り組み

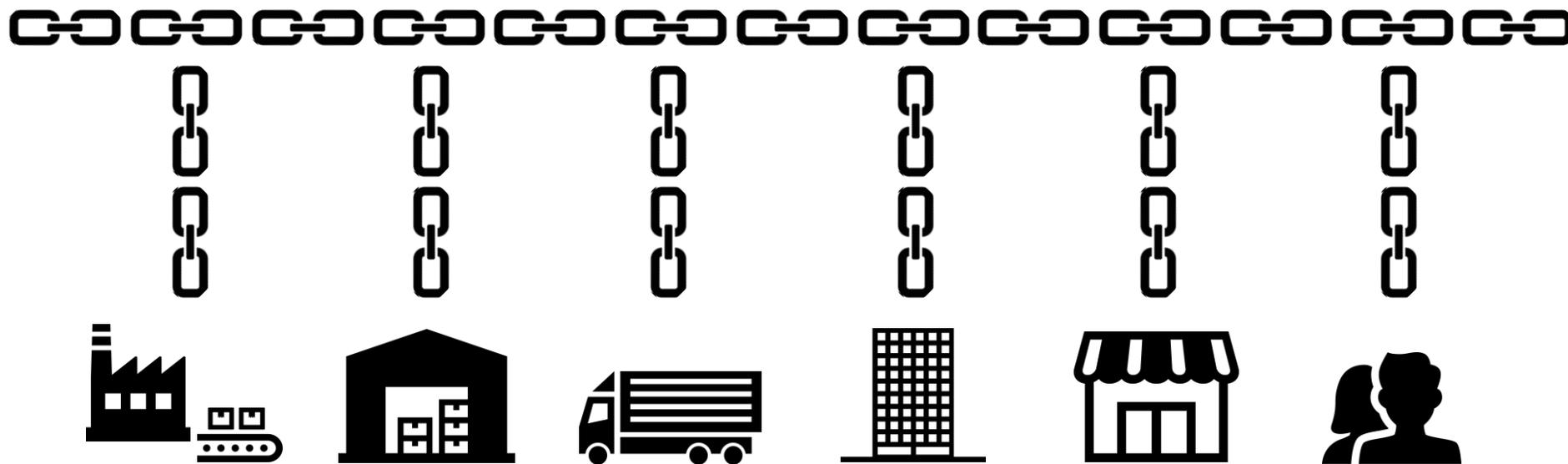
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



様々な分野で利用可能



- ✓ サプライチェーンの可視性を強化
- ✓ 製品の出所を保護
- ✓ 製品工程と状態の追跡
- ✓ 製品の品質を確保



各工程で情報が記録される